



HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE

Race	SUPER GT Rd.5
	44th INTERNATIONAL SUZUKA 1000km
Date	2015.08.29-30
Race Track	SUZUKA CIRCUIT
Team	RUNUP Group & DOES GT-R



フリー、予選で好調をキープ、決勝に期待がかかる。

前回の富士から3週間と、短いインターバルで迎えた鈴鹿1000キロレース。伝統のこのレースは、通常レース距離の3倍以上の1000キロを走る、シーズンで最も過酷なレースになります。また、今回のレースも5月の富士500キロレースと同じく成澤選手に加入していただき、3人で戦うことになります。

2015.08.29 FREE PRACTICE (フリー走行 2位 /28 台中) WEATHER : DRY

曇り空の中、約1時間半のフリー走行がスタートしました。鈴鹿は7月末のタイヤテストの際に良いセッティングが見つかったので、先ずはそのセッティングでマシンバランスを確認します。

しかし、走行開始直後は昨夜から降り続いていた雨で路面が所々濡れている状況でした。そのため、予選に向けてのセッティング確認は後半で行うことにし、4周ほどチェックしたところで田中選手にドライバー交代します。田中選手に代わってすぐに赤旗でセッション中断となってしまいますが、セッション再開後すぐに周回を重ねてもらい、成澤選手にバトンタッチし、マシンに慣れてもらいます。成澤選手に代わってからも、2回目の赤旗が発生しセッション中断となるような荒れた展開で、思うように周回を重ねることが出来ません。しかし、残り時間も15分となったので再び自分に交代し、予選用のセッティングに変更後、予選シミュレーションを行いました。しっかりタイヤを温め、2周目にアタックした結果1'59.766というタイムで2番手につけることが出来ました。

セッティング変更が功を奏し、事前テストの時より良いフィーリングでアタックすることが出来たので、トップとのタイム差も約0.1秒と、今シーズンで一番速さを見せるマシンバランスになってきたと実感しました。

2015.08.29 QUALIFYING (公式予選 13位 /28 台中) WEATHER : DRY

午後に入り、路面は完全にドライコンディションになりましたが、曇り空の中、公式予選の時間を迎えました。

先ずはQ2に進出するために、13位以内を目指して自分がQ1を担当します。前回の富士ではタイム的には問題なかったものの、自分のミスでQ2進出を逃してしまったので、今回は絶対にそんなミスがないように意識してアタックします。

予選開始から5分ほどピットで待機し、予選セッション後半の少しでも路面コンディションがよいところでアタック出来るようにタイミングを見計らいコースインしました。フリー走行と同様にしっかりタイヤを温め、計測2周目に全てを出し切るつもりでアタックしました。

その結果、1'59.299というタイムで3番手のタイムを記録。トップからは0.2秒差でしたが、自分の中ではほぼミスなしでアタック出来たと思います。

Q2は今回加入して貰った成澤選手がアタックしてくれました。結果は13番手ですが、成澤選手もフリー走行からは自己ベストを更新し、決勝に向けて良いフィーリングで予選を終えることが出来たと思います。



SPONSOR





HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE



ドライ路面での好調も天気にも翻弄された決勝。リタイアに終わる。

2015.08.30 RACE (決勝リタイア / 28 台中)

WEATHER : WET→DRY

決勝日は朝から小雨が降ったりと、ハッキリしない天候が続きます。

今回のレースは1000キロと長いので、いつもとスケジュールが違い、朝のフリー走行はありません。レーススタート前に少しだけウォームアップの時間があるので、そこで全てを確認しなければなりません。

しかし、いざウォームアップの時間になると止んでいた雨が降り始め、乾いてきていた路面を再び濡らし始めます。レインタイヤの皮むきを終わらし、ウェットセットの確認を行ったのですが、タイヤの内圧の調整がうまく出来ず、いいバランスで走ることが出来ないまま、レーススタートの時間を迎えることになってしまいました。

レーススタート直前から雨脚が強くなったことで、ウェットコンディションでスタートされますが、長い1000キロレースとなるので、タイヤ選択から難しいレースとなってしまいました。

スタート直後から、雨量が減るとにらんで選んだウェットタイヤのハードコンパウンドは、中々温まらずペースを思うようにあげられません。ある程度順位が落ち着いた時には、2台にパスされ15位を走行していました。そして10周ほど周回したときに、ペースの落ちてきたマシンをオーバーテイクしようと仕掛けた結果、逆に3台にパスされてしまいました。

そこからはポジションを保ったまま周回を重ね、32周目に作戦通りピットインしドライバー交代します。

しかし、次のドライバーがピットアウトした直後、強くなってきた雨の影響でバランスを崩した際に、他車と接触してしまいます。ドライバーもどうにか復帰しようと試みましたが、マシンの状況からピットに戻ることは許されず、ここでリタイアとなってしまいました。

残念な結果ですが、高速コーナーである13ORでのクラッシュだったため、両ドライバーとも怪我がなかったことが何よりだったと思います。今シーズンはマシントラブルやミス、天候も含めて、歯車が噛み合わないレースが続いていますが、速さやチームのモチベーションがどんどん良くなっていく実感があります。

次戦までは1ヵ月もないので気持ちを切り替えて、どんな状況でも前向きに進んでいきたいと思っています。それでは引き続き、ご指導、ご支援よろしくお願致します。

 吉田 広樹



SPONSOR

